

令和二年度 予算決まる!!

3月議会の開催は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、会期を大幅に短縮しての予算審議となりました。

令和2年度の一般会計当初予算は、前年度と比較して2.2%、11億円増加の51億円となり、13年連続増額予算となりました。

新年度の最重点・重点施策事業の概要は次の通りです。

○「安心安全なまちづくり」では、昨年の台風等の自然災害や震災等に更なる対応の為に、組織機構の改善が図られ専従部門が強化されます。

○「赤ちゃんから高齢者までのすこやかライフの充実」では、安心して子どもを預けられる環境の整備及び子どもの居場所づくり事業を推進されます。特に、産後ケアを強化し、出産後の母子に対する心身のケアや育児支援がされます。

○「拠点とネットワークづくり」では、「南部地域の拠点整備事業」として市の南部地域に、防災やコミュニティ機能を備えた施設の整備が行われます。

○「楽しく学べて元気な地域づくり」では、市内小中学校の屋内運動場と特別教室へのエアコン設置が完了します。また、三郷北部地区土地区画整理事業の事業化を支援し、工業・流通系の産業誘導を行います。

○「東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした国際化とスポーツの推進」を図ります。

新年度も、市民の皆さまからいただいたご意見・ご要望をもとに、私ども公明党三郷市議団の数々の市民要望が反映された予算となっております。今後も安全で安心して暮らせる、住み良いまちづくりを全力で推進してまいります。

SDGsの理念を反映した新しい取り組み～「持続可能な社会へ」

SDGsとは：

SDGs（エスディー・ジー・ズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための、人権・環境・教育・産業などの17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



三郷市の将来像を示す 「第5次総合計画」を策定！

三郷市のまちづくりや将来都市像を示し、実現する為の方針を定めます。同時に「国土強靱化地域計画」を策定し、大規模災害時のリスク回避の為のまちづくりを考えます。2021年度～2030年度の10年間を期間とします。

子育て環境の拡充 宿泊型産後ケアがスタート！

医療機関との連携で、産後の心身のケアのため宿泊型の休養や育児サポート等を行います。利用料の一部を市が助成します。



持続可能な社会を目指し 「環境基本計画」を改定！

各環境施策とSDGsを関連付けた計画を策定します。地球温暖化や気候変動などの環境問題に取り組み、環境に配慮したまちづくりを進めます。

最新技術の活用で業務改革を推進！

AI(人工頭脳)、RPA(ロボットによる業務自動化)などの最新技術を活用し、市役所業務の大幅な効率化を図り、行政サービスの質を向上させる取り組みを進めます。



地域公共交通網整備の計画策定！

ITを用いてあらゆる交通機関を人々が効率良く、かつ便利に使えるシステム(MaaS=マース)の概念を取り入れながら、公共交通網の評価や、快適な移動サービスについての検討を行い、都市計画マスタープランを策定します。



中小企業の BCP 策定を支援！

災害が発生した際、中小企業の被害を最小限に留め、事業の速やかな復旧とともに、地域の産業基盤を維持させるため、市内中小企業が行うBCP(事業継続計画)策定の支援として、セミナー開催や相談窓口設置などを行います。



令和2年度 主な新規事業

公明党市議団の主張が反映されました!!

○三郷市地域防災計画改訂事業

防災関係法令や関係指針等の改定内容を反映するとともに、国、県等の公表する最新の上位計画や被害想定等の整合を図り、最新の防災計画の改定を行います。

○三郷市多世代交流複合施設整備等事業

旧北公民館、北児童館、旧たちばな保育所の跡地を活用し、多世代にわたる交流が促進される新たな交流拠点の整備に向けた実施設計等を実施します。

○保育所等整備推進事業

安心して子どもを預けられる環境を整備するため、保育需要を踏まえ保育施設等の適正配置を推進し、待機児童の解消を図ることを目的に、今年度は小規模保育事業施設を新設するため、保育事業者に対して施設整備の補助を行います。

○小学校空調設備整備事業

学校施設は、児童にとって「学びの場」であるとともに、地域住民にとっては避難所となることから、計画的に空調設備を設置します。

屋内運動場・特別教室空調設備：八木郷・彦成・吹上・桜・新和・彦糸・前谷・高州東・彦郷・前間・後谷小学校（計11校）

○空家等利活用に係る実態調査事業

空家等の利活用に推進するために必要な実態調査を行います。

○図書館運営事業

市で所蔵する図書という知の財産を市全体で活用するため、ラッピングカーで市内を巡回し、様々な場所に本を届ける「旅するみさとブックライブラリー事業」を実施する。

○南部地域拠点整備事業

令和元年度策定の三郷市南部地域拠点整備基本計画を踏まえ、南部地域の課題(交通ネットワークの活用、災害への対応、地域コミュニティの維持)及び公共サービスの維持・向上の解決を図るため施設整備を行います。

○三郷市ホストタウン交流実行委員会設置

ギリシャ共和国を応援したい方々と三郷市が一丸となって、ホストタウン交流を総合的に推進し、地域活性化を図るとともに、将来的な国際友好都市交流についての検討を進めます。



○オリンピック・パラリンピック対応英語力育成事業 (英語指導助手派遣 ～英語でコミュニケーション～)

児童生徒が英語に慣れ親しむ機会を積極的に用意し、グローバル社会において活躍できる人材育成を目指し、ALTを増員配置します。

(英語検定受験奨励補助金)

市内全小学生を対象とする英語検定受験奨励金を交付します。



● 3月定例議会の一般質問要旨 ●

「キッズゾーン」を設定し 交通安全対策強化を!

昨年春、滋賀県で散歩中の保育園児が犠牲になる痛ましい交通事故が発生しましたが、その後、公明党の議会質問などにより、市内の危険な交差点に車止めポールが設置されています。さらなる事故防止対策として、保育園児の散歩コースなどを「キッズゾーン」に設定するとともに、国の予算を活用しながら路面標示や標識看板などを整備し、車のドライバーなどに対し注意喚起と意識啓発を図り、保育施設周辺の安全を向上させることについて質問しました。



その他の質問：

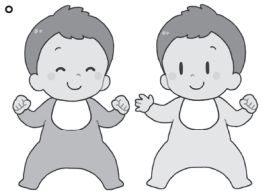
- ・産官学連携の推進について
- ・国際友好都市提携について

「多胎児世帯支援について」

先般「多胎育児のサポートを考える会」による双子以上の子どもの保護者を対象としたアンケート調査が行われました。そこには育児中に辛いと感じた事は「外出・移動が困難」が89.1%、「自身の睡眠不足や体調不良」が77.3%などの回答がありました。二人以上の乳幼児を抱える保護者は、外出も困難な為孤立しがちです。支援の窓口に行く事も出来ない場合があります。国ではこのような家庭を支援する為、育児サポーターの支援などの事業を始める事となりました。三郷市としても、訪問支援や多胎児育児経験者によるサポートなどの支援を実施することについて質問しました。更に、多胎児家庭は一度に二人を保育所に入れる必要があり大変な状況です。保育所の多胎児加算について質問しました。

その他の質問：

- ・産後ケアの拡充について
- ・「就職氷河期世代」への支援について



新型コロナウイルス感染症に対し、国に要望を提出!

私共、公明党三郷市議団は、新型コロナウイルス感染症の対応の為、三郷市の行政機関や教育委員会など現場の要望を即座に聞き取り、国に随時その要望を提出させて頂きました。

内容は、発注した給食食材の対応、感染者受け入れ医療体制の整備及び医療機関への支援、そして個人・企業への支援などでした。

その後、国会でも審議され、給食食材の発注分は、市の負担が5%のみで負担軽減すると共に、市を窓口とする生活支援策や中小企業支援策が多く示されました。

公明党市議団



さかまき 宗一
☎955-2772



中野 てるお
☎957-7686



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554



なるみ 和美
☎955-7715

▼ご相談はお気軽!!